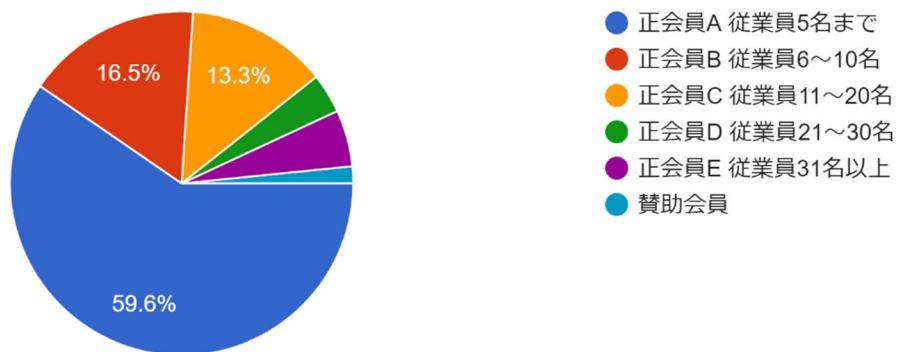


2023 年度お墓じまいアンケート

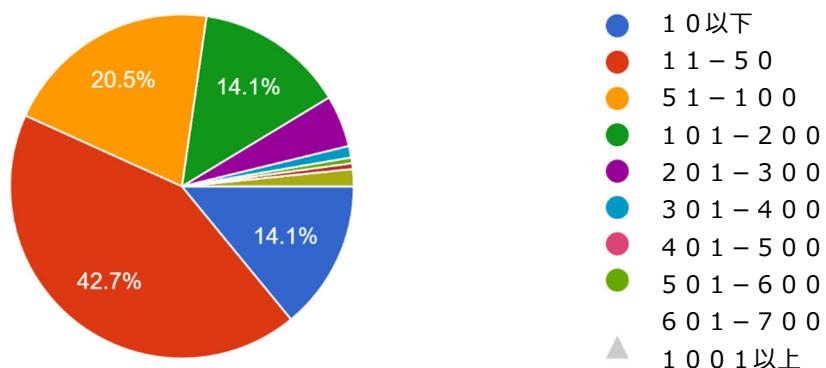
石材産業協会の会員区分を教えてください。

188 件の回答



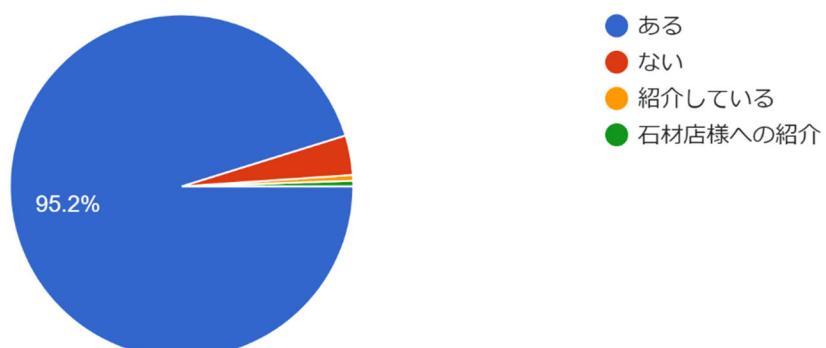
年間墓石施工件数（新規および改修）

185 件の回答



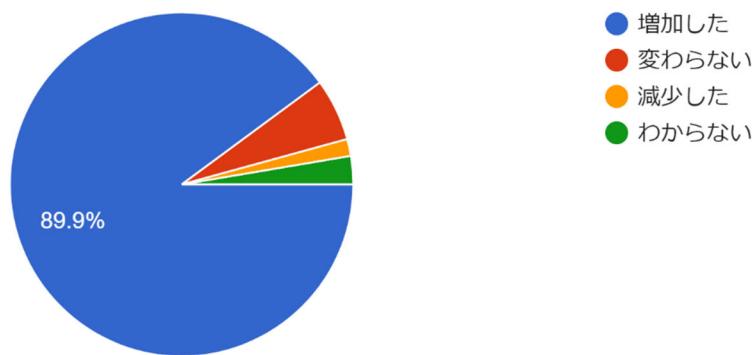
お墓じまいの業務を行ったことがありますか？

188 件の回答



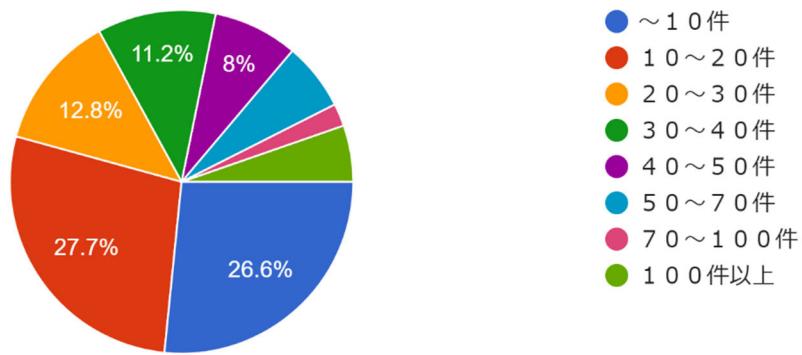
5年前と比べてお墓じまい工事の受注件数はどうなっていますか？

188 件の回答



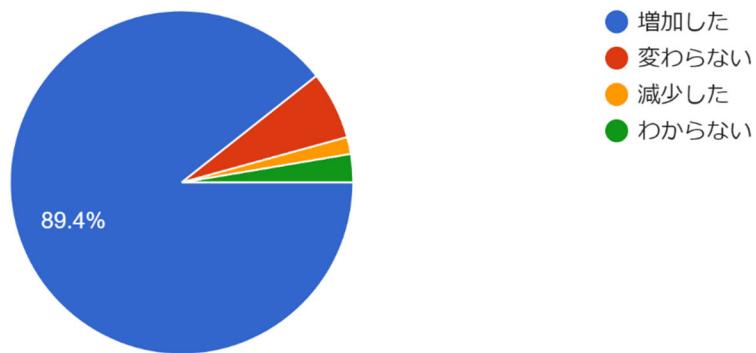
現在のお墓じまい工事の受注件数（直近1年間もしくは前期1年間）はどのくらいですか？

188 件の回答



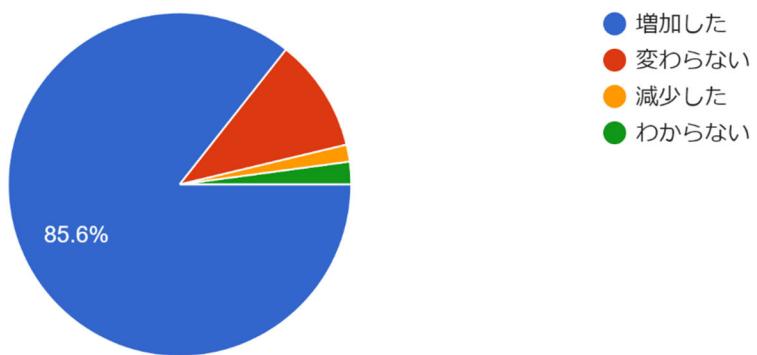
5年前と比べて、「全受注数」に占めるお墓じまい工事の件数の割合は、どうなっていますか？

188 件の回答



5年前と比べて、「売上」に占めるお墓じまい工事の売上の割合は、どうなっていますか？

188 件の回答

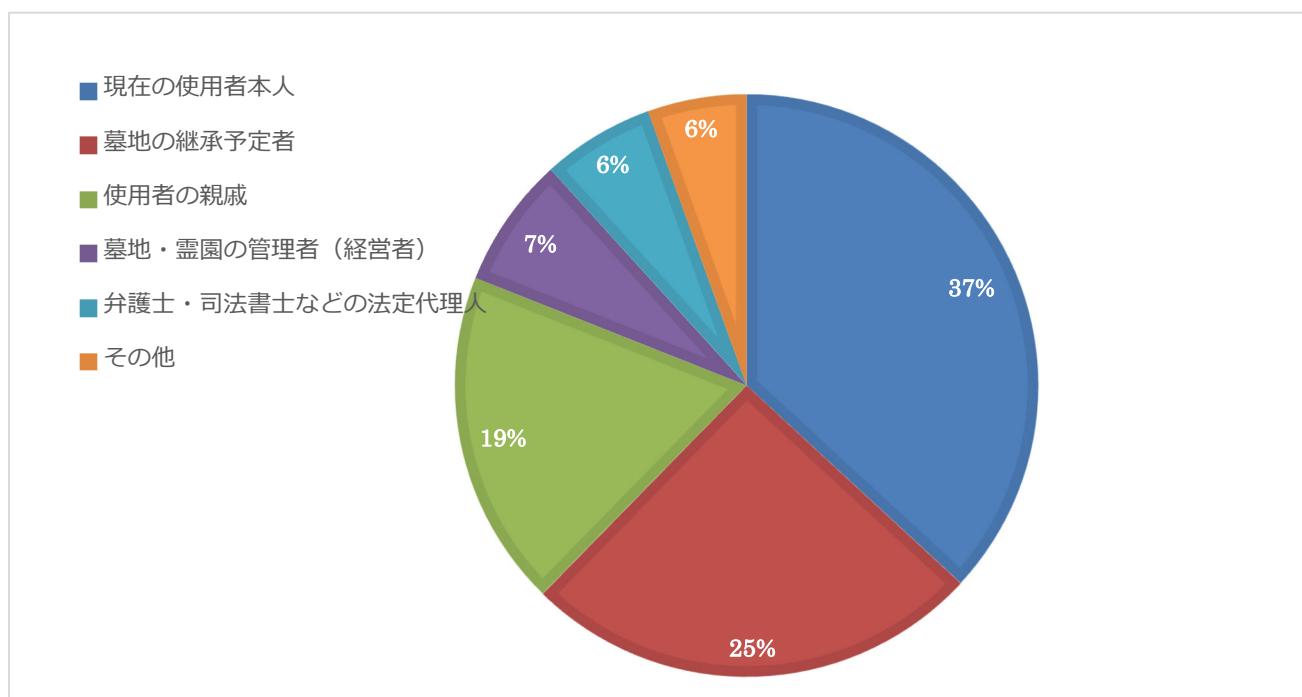


お墓じまいの工事の平均単価はどのくらいですか？

188 件の回答

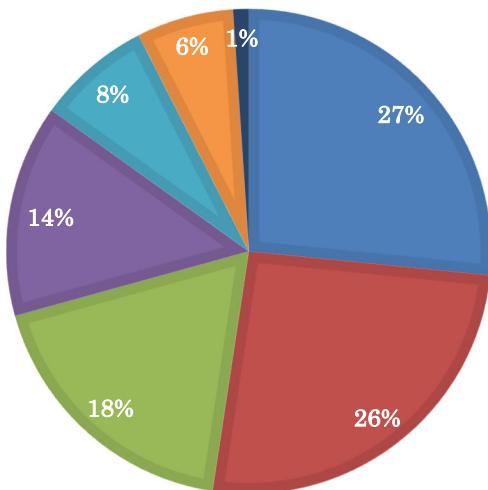


お墓じまいの施主（発注者）は、どのような人が多いですか？ 下記のうち、多い順に4位まで順位をつけてください。（1位4P、2位3P、3位2P、4位1Pとして計算）



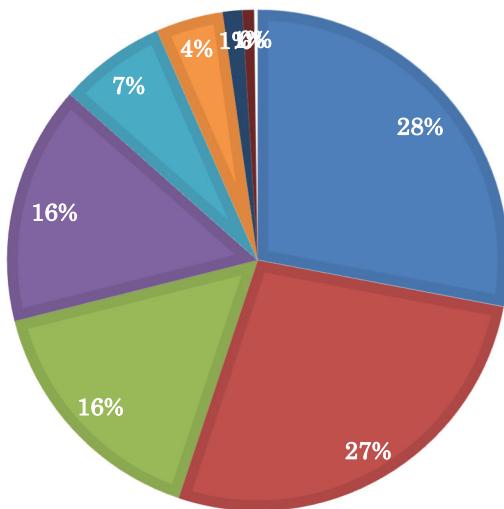
お墓じまいの理由は、どんなものが多いですか？ 下記のうち、多い順に 4位まで順位をつけてください。
 (1位4P、2位3P、3位2P、4位1Pとして計算)

- 次の代に迷惑をかけたくない
- 現在お墓を見ている人がいない
- 他に墓地を買った（墓地が遠いなど）
- お墓を見るのが大変だから
- その他
- お寺と付き合いたくない
- 故人の遺言



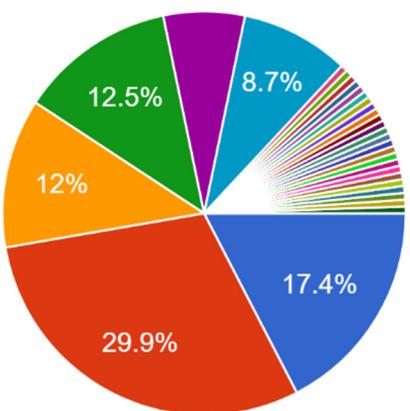
お墓じまい後の遺骨の行方はどこですか？ 下記のうち、多い順に 4位まで順位をつけてください。
 (1位4P、2位3P、3位2P、4位1Pとして計算)

- 他所の永代供養施設
- 当該墓地付属の永代供養施設
- 他所の墓地
- 合祀墓、無縁墓地
- 当該墓地でのお墓の建て直し
- その他
- 散骨
- 自宅
- 手元供養



お墓じまいの積算をするときに使用している単位は何ですか？

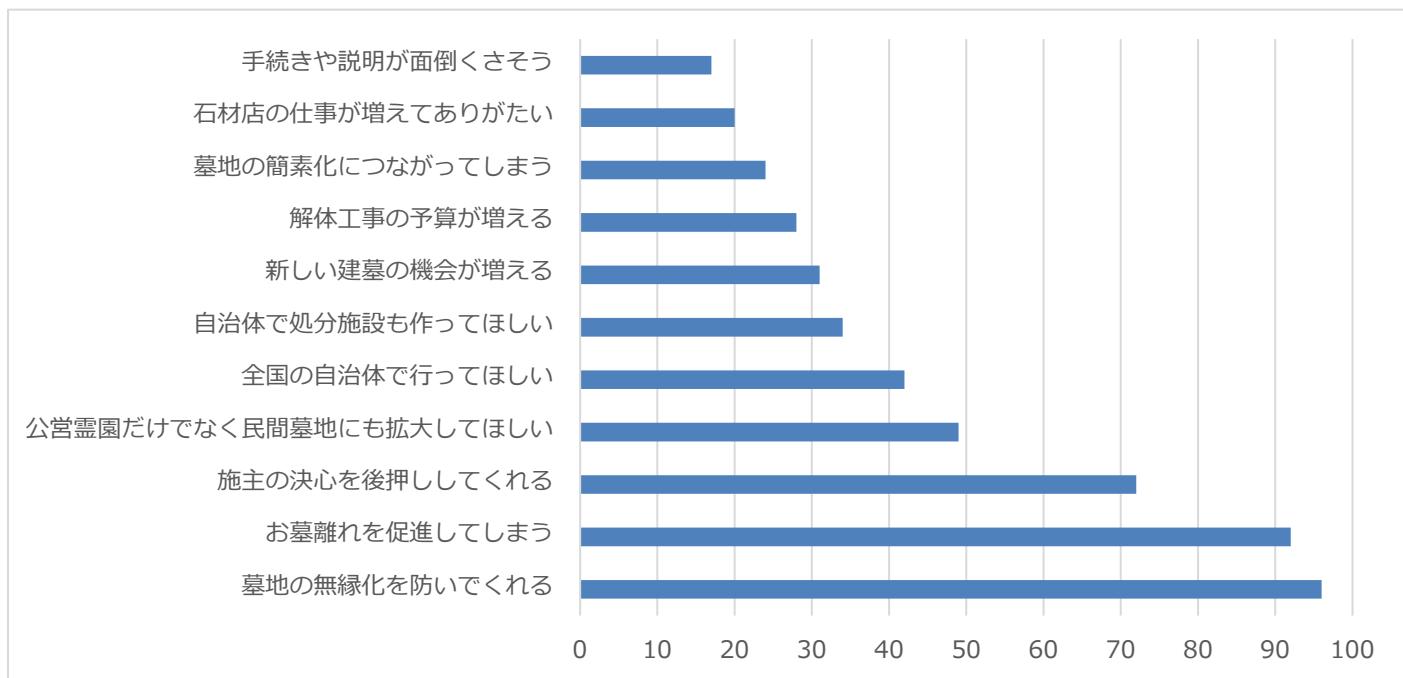
184 件の回答



- 平米（面積）
- 才数（体積）
- k g（重量）
- 一式
- 基数（お墓の数）
- 人工計算（人件費）

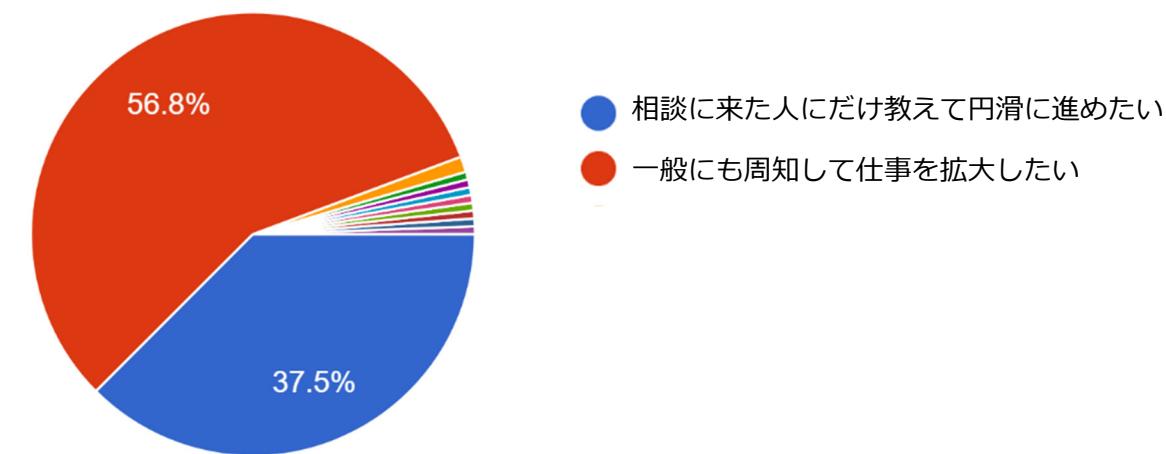
自治体の墓地の返還に関する助成事業について、どう思いますか？

180 件の回答



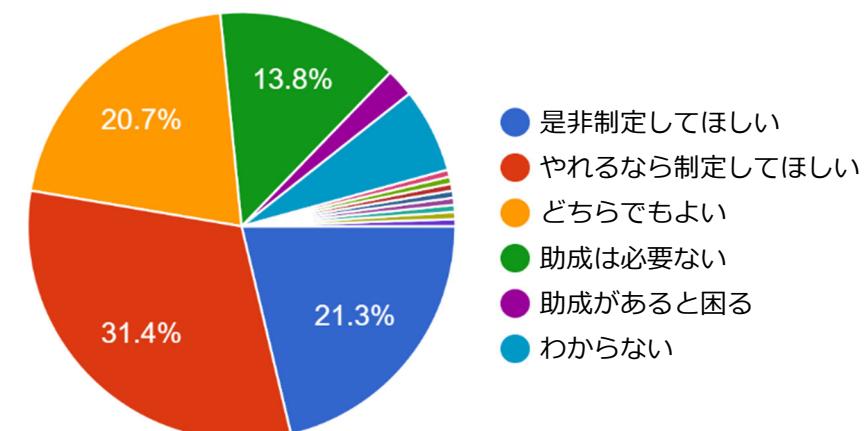
墓地返還（お墓じまい）に対する自治体の助成事業を利用できる場合どうしますか？

176 件の回答



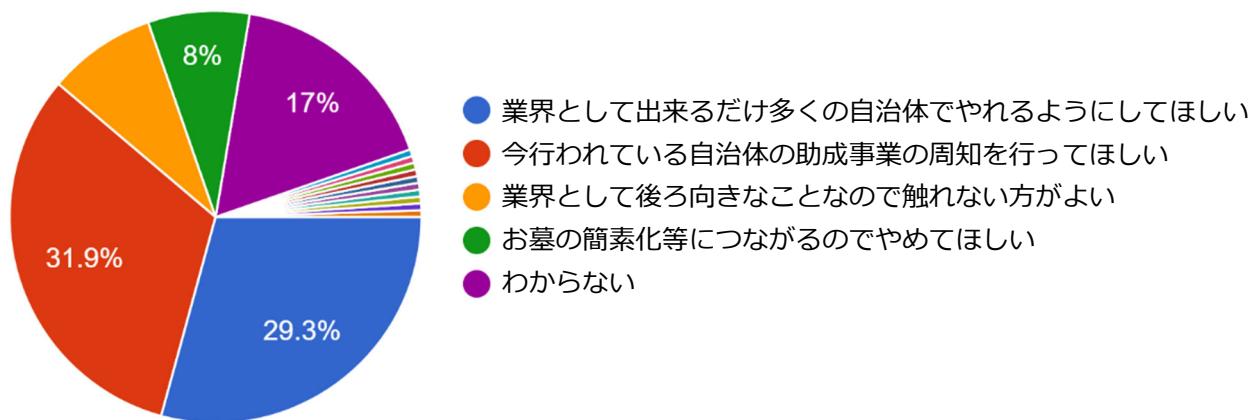
墓地返還（お墓じまい）の助成事業について、地元の自治体でも行ってほしいですか？

188 件の回答



業界団体として墓地返還（お墓じまい）の助成事業をどう扱ってほしいですか？

188 件の回答



石材店がお墓じまいの仕事を受注するときに気を付けていること

1. トラブル回避

- 墓地管理者や親族の同意を得る
- 改葬先（お骨の行き先）の確認
- 墓地の状況確認
- 法的手手続きの確認

2. 家族などの同意の確認

- 墓じまいについて家族や親族に相談しているか
- 改葬先（お骨の行き先）について家族や親族に相談しているか

3. お骨の行き先確認

- 改葬先（お骨の行き先）が決まっているか
- 改葬手続きが完了しているか
- お骨の量や状態

4. 寺墓地はお寺の考え方

- 墓地管理者の確認
- 寺院の理解と協力

5. 見積もり内容の明確化

- 工事内容の詳細説明
- 見積もり項目の明確化
- 見積もり金額の根拠説明

これらの点について、石材店は墓じまいを行う際に特に注意しています。

1つ目の「トラブル回避」については、墓地管理者や親族の同意を得ずに墓じまいを行うと、後々トラブルに発展する可能性が高いため、必ず確認するようにしています。また、改葬先が決まっていないと、墓じまい後にお骨をどうするかという問題が発生するため、改葬先の確認も重要です。

2つ目の「家族などの同意の確認」については、墓じまいによってお骨や墓地を管理する人が変更になるため、家族や親族の同意を得ることが大切です。

3つ目の「お骨の行き先確認」については、改葬先が決まっていないと、墓じまいがスムーズに進まない可能性があります。また、お骨の量や状態によっては、搬送や処分に費用や手間がかかる場合があるため、事前に確認しておくことが重要です。

4つ目の「寺墓地はお寺の考え方」については、寺墓地の場合は、お墓の所有権が寺院にある場合があるため、事前に寺院の理解と協力を得ることが大切です。

5つ目の「見積もり内容の明確化」については、見積もりの内容が不明瞭だと、後々トラブルに発展する可能性があります。そのため、工事内容の詳細説明や見積もり項目の明確化を心がけています。

石材店の自治体に対する要望を5つのポイントにまとめました。

1. 墓じまいの行政手続きの簡素化
2. 墓地の管理体制の強化
3. 墓地の利用促進
4. 墓地の整備
5. 墓地の文化的価値の維持

これらの要望は、以下の3つの観点から整理することができます。

- **墓じまいの促進**
石材店の要望の多くは、墓じまいの促進を目的としています。散骨の基準の明示や、改葬許可申請の簡素化など、墓じまいをよりスムーズに行うための要望です。また、墓じまい費用の控除や、墓地の管理者が行う墓じまい費用の助成など、墓じまいを経済的に支援するための要望もあります。
- **墓地の適切な管理**
石材店の要望には、墓地の適切な管理を求めるものが多くあります。墓地の整備や、無縁墓の対策など、墓地の環境を整えるための要望です。また、墓地の管理体制の強化や、墓地の利用促進など、墓地をより適切に管理するための要望もあります。
- **墓地の文化的価値の継承**
石材店の要望には、墓地の文化的価値の継承を求めるものもあります。墓石の文化的価値の保存や、墓地の歴史的価値の調査など、墓地の文化的価値を守るための要望です。

これらの要望は、石材店が墓地事業を営む上で課題を反映したものと言えます。墓じまいの増加や、墓地の管理の難しさを背景に、石材店は自治体に協力を求めているのです。

石材店のお墓じまいにたいする意見を5つのポイントにまとめました。

1. **墓じまいは悲しい現実**
墓じまいが増加していることを悲観的に捉える意見が多く見られました。建墓数が減少する中、墓じまいは石材店の収入源であり、また、お墓の文化や伝統の継承の観点からも課題と捉えられています。
2. **墓じまいは多様化**
墓じまいの理由は、継承者不在、遠方への転居、宗教離れなど、多様化しています。そのため、石材店は、それぞれのケースに合わせた対応が求められています。
3. **墓じまいの課題**
墓じまいの課題として、費用の高さ、行政手続きの煩雑さ、トラブルの発生などが指摘されています。石材店は、これらの課題を解決するための取り組みが求められています。

4. 墓じまいに対する提言

墓じまいを推進するための提言としては、以下のようなものが挙げられます。

- 墓じまいの費用を抑えるための支援策
- 行政手続きの簡素化
- トラブル防止のための情報提供
- 多様な供養形態の普及

5. 石材店の今後の展望

墓じまいの増加は、石材店にとって大きな課題です。しかし、一方で、墓じまいによって新たなニーズが生まれていることも事実です。石材店は、こうしたニーズに対応することで、新たなビジネスチャンスを創出することができると考えられます。

具体的な意見としては、以下のようなものが挙げられます。

- 墓じまいという言葉を「お墓の解体処分」に変更する
- 欧米の期限付き墓を取り入れた墓地管理の在り方を検討する
- 墓じまいに関する情報の周知・啓発を強化する
- 墓じまいに関するトラブル防止のための取り組みを強化する

石材店は、今後も墓じまいに関連する課題を解決し、新たなビジネスチャンスを創出することで、業界の発展を目指していく必要があると考えられます。